

# 全日本学生選手権 第29回 全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会



2017年6月4日(日) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側  
主催: 日本学生自転車競技連盟 共催: (公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛: 株式会社パールイズミ 株式会社日直商会  
後援: 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-2

2017年5月30日

チーフコミッサー 荒井 純一

## 1. スタート間隔について

- 大会要項記載の特別規則では、「原則として 30 秒間隔」としているが、**女子とクラス 1 及びクラス 1 相当と本連盟が認める選手は「1分間隔」でスタートするものとする。さらに、ラスト 10 人は「2分間隔」とする。**各自スタート時刻を確認のうえ、遅れない様に準備すること。

## 2. レース中の車両走行について

- コースは道路幅員が狭いため、四輪車は原則として走行出来ない。(救護車等が走る可能性は有り)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行う。

## 3. ゴミ投棄の禁止について

- 例年、コース脇へのボトル、食料、包装紙等のゴミのポイ捨てが散見されるが、回収が困難な場面も多々あり、こうした行為が今後の会場借用に支障をきたす可能性もある。これらゴミのポイ捨てに関して一切厳禁とする。
- 上記に反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000 円/件のペナルティーを科すものとする。
- その他、大会中に発生したゴミについても、各自で必ず持ち帰ること。

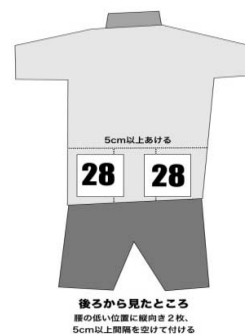
## 4. 無線通信装置の使用

- レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。

## 5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン 2 枚(右図)+フレームプレートの着用を義務づける。ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。なお、**ゼッケンとゼッケンの間は最低 5cm 以上空けること。**
- ゼッケンとフレームプレートは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。大会終了時に返却しなかった者および紛失の場合は、1 枚につき 1000 円のペナルティーを科す。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側につけること。
- フレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかりと固定すること。

ゼッケンの間は 5cm 以上



## 6. PIT設置場所について

- 本大会のコース内にPITを設ける。**羽生スカイ公園そば(141km地点)と男子折り返し地点の2か所とする。女子については羽生スカイ公園そばのみの1か所とする。**各PITに学連より前後の代輪を用意するが、交換は選手自身が自ら行うこと。また、**各校にて用意した代車・代輪は、この2か所のPIT内においてのみ、交換を認める。その他の地点における立哨員からの代車・代輪の交換は認められない。**

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jjcf.info/>

NICHINAO

PEARL IZUMI

DE ROSA